

# 筑紫丘高等学校ラグビー部 創部80周年記念事業

## 趣意書並びに募金のお願い

創部100年に向けて OneTeam ～強い筑高ラグビーの復活をかけて～

筑紫丘高等学校ラグビー部は2026年に創部80周年を迎えます。

1946年旧制筑紫中学においてラグビー部が誕生して以来、県内トップクラスの進学校でありながら、過去3回(1979年、1985年、1989年)の花園全国大会に出場するなど、強豪校としての確固たる地位を築き、「ラグビーの強い進学校」という評価を県内外から得てきました。これまで輩出してきたOBOGはラグビー界のみならず、産官学といった各方面に在籍し、今でも幅広い分野で多くの方々が活躍されています。

また、筑紫丘高校ラグビー部を強化していくことを目的に1995年にOB会が設立し、現在も主催運営している「筑紫丘ラグビークラブジュニアスクール」においても、全国大会や九州大会で優勝するなど県内屈指の強豪チームにまで成長しています。ラグビーワールドカップイギリス大会で大活躍し国民的英雄となった五郎丸歩氏を輩出するなど、日本のラグビーの発展と地域の子供たちの健全な育成に貢献してきました。

しかしながら筑紫丘高校ラグビー部を取り巻く環境は、ラグビー人口の減少、授業料免除など特待生制度による推薦やラグビー推薦入学者数を拡大している高校の台頭、グラウンドを人工芝にしている高校の増加などにより、部員の確保も厳しくラグビー部の存続が危ぶまれる大変厳しい状況にあります。強い筑高ラグビーが復活し発展し存続していくことがすべてのOBOGの願いであり希望であります。

今回大きな節目となる80周年を迎えるにあたって、OB会では80周年を祝うとともにラグビー部の歴史と伝統、地域社会への貢献を再認識するとともに、記念事業を通じて現役の強化に向けた練習環境の整備拡充を行い、強い筑高ラグビーの復活に寄与していきたいと考えています。特にOB会の悲願でありましたグラウンドの人工芝化においては、筑紫丘高校創立100周年の記念事業としてグラウンドの人工芝敷設事業(3億円)が決定され、既に寄付募金活動が始まっています。グラウンドが人工芝になることで、ラグビー部のみならず全生徒がケガの少ない安全な部活動や授業、行事に参加することができます。そして綺麗で安全な人工芝でラグビーをしたいという地域の小中学生やその保護者の夢と希望をかなえ、さらには地域のコミュニティや防災拠点としての役割も担うことにより、筑紫丘高校そしてラグビー部の価値と魅力の向上につながり、ラグビー部員の確保にも大きく寄与することができます。OB会としてもグラウンドの人工芝敷設事業に積極的かつ強力に取り組んでいきます。現在OB会では実行委員会を組織し周年事業の内容について会議を重ねていますが、具体的には記念式典の開催、ウエイトトレーニング施設や部室の整備、現役とジュニアスクールの記念試合及び強化遠征試合(東京)の実施、記念誌の発刊、寄付(クラファンを含む)や募金及び協賛会社やスポンサー企業の募集などを計画しています。

ついでには、OBOGはもとより筑紫丘ラグビークラブジュニアスクールの関係者、そして筑紫丘高校ラグビー部を長年にわたり支えていただいている筑紫丘高校ラグビー部保護者後援会及び保護者後援会OB会の皆様にこの記念事業の趣旨にご賛同いただき、筑紫丘高校ラグビー部への強化支援の想いとともにご寄付募金にご協力賜り、創部100年に向けたさらなる発展にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 【現役強化支援の募金目標:2000万円】

- ① ウエイトトレーニング施設(ウエイト器具を含む)・部室整備・用具備品等:1500万円
- ②強化遠征費用:300万円
- ③グラウンド人工芝事業(創立100周年記念事業)への協力:200万円

### <お振込先>

福岡銀行 筑後支店(653) 普通預金 2059011

口座名義 筑紫丘高等学校ラグビー部 OB会 会長 角 博

\*お振込みの際は、卒業回とお名前の記載をお願いいたします。



筑紫丘高等学校ラグビー部OB会  
会長 角 博 (高33回)